

◆ 循環研セミナー ◆

昆虫食が人類を救う-伝統的な食べ方、新しい食べ方

講師：神戸大学名誉教授 ピノキオ幼稚園園長 竹田 真木生 氏

21 世紀の中ごろには地球の人口は 90 億になると試算されています。

食料供給はどうなるのか？ この問いに FAO（国際連合食糧農業機関）が勧告を出しました。昆虫食の奨励です。

昆虫食はどのような利点があるのか、どのように利用されているのか、されうるのか。世界の昆虫食の実例と、新しい利用法の試みについて、神戸大学名誉教授の竹田先生に紹介していただきます。

【竹田 真木生 (たけだ まきお)氏のプロフィール】

昭和 48 年 3 月 京都大学農学部卒業、昭和 50 年 3 月 弘前大学農学研究科修士課程修了、昭和 53 年 12 月 米国ミズーリ大学大学院博士課程修了。デラウェア大学、エール大学、ワーゲニンゲン農科大学 PD 研究員、塩野義製薬特別技術指導員等を経て、昭和 59 年神戸大学農学部助手、同助教授、同自然科学研究科教授、同農学研究科教授、平成 28 年 4 月 神戸大学名誉教授、平成 29 年よりピノキオ幼稚園(埼玉県熊谷市) 園長(非常勤)。

著書：「生態進化発生学：エコ・エボ・デボの夜明け」ギルバート S.、イーペル D. 著(共訳)東海大学出版(2012)、「昆虫における飢餓ストレスへの適応：中腸から見た姿「耐性の昆虫学」(田中誠二ほか編)、(2008) 東海大出版.、「昆虫のコミュニケーション 多次元のコミュニケーション」(長谷川宏司編)大学教育出版(2006).、高橋信正、金澤洋一(編著)「田舎のちから」昭和堂(2007)など多数。

開催日時 2017 年 5 月 31 日(水) 18:30~19:40

開催場所：東京スクエアガーデン 6F 中央区立環境情報センター研修室 2

〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 1 番 1 号

銀座線「京橋駅」A3 出口直結
 有楽町線「銀座 1 丁目」7 番出口 2 分
 都営浅草線「宝町駅」A4 出口 2 分
 JR『東京駅』八重洲南口 6 分
 JR『有楽町駅』京橋口 6 分

参加費：無料

セミナー後循環研総会開催予定

☆お申込み／お問い合わせ先☆

NPO 法人循環型社会研究会 事務局

電話番号：03-6262-5946

FAX 番号：03-5542-1062

E-mail：junkan@nord-ise.com

ホームページ：<http://junkanken.com>

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-3-14

京橋 AKビル 6F



FAX での申し込み 03-5542-1062

フリガナ氏名： _____ 所属・役職： _____

住所：〒 _____

電話番号： _____ E-Mail： _____

●ご記入いただいた個人情報は、本セミナー関連のご連絡以外には使用いたしません。